

第2問

Ⅱ C

(正答例)

光がある程度あたり、光合成を行える状況であれば、それを早く察知して発芽することで種子中の栄養がなくなる前に光合成によって自ら安定して栄養をえることができる。

Ⅱ D

(正答例)

種子の上に他の植物がある 場合赤色光は葉における透過率が低いため、遠赤色光のみが届くので発芽しない。しかし発芽しても他の植物に光を遮ぎられ生育できないので、無駄な発芽をしなくてすむ。

Ⅲ A

(正答例1)

林冠閉鎖部では1日中日光が当たり夜は当たらないため、1日中光量も温度も低い環境になるのに対して、森林のギャップでは日中は日光が当たり夜は当たらないため温度差が大きく、また、土壌中深さ4mmの位置で約0%になるので、光は1日中存在しないことになる。

(正答例2)

種子の上に他の植物がある 場合赤色光は葉における透過率が低いため、遠赤色光のみが届くので発芽しない。しかし発芽しても他の植物に光を遮ぎられ生育できないので、無駄な発芽をしなくてすむ。